

令和4年2月24日
鈴鹿市立玉垣幼稚園
No. 20

立春が過ぎ、季節の節目がやってきました。ここから徐々に春に向かうのですね。寒さももう少しかもしれません。園庭が雪景色に変わった朝、登園するとすぐその景色を見た感動を話してくれました。寒さをもものともせず、外に出て雪合戦を楽しんでいましたよ。



劇遊び、合奏を楽しんでいます！

3月8日にさくら組の最後の保育参観があります。参観では、歌や合奏、劇をします。お子さんから話を聞き、楽しみにしていただいているのではないのでしょうか。

合奏では、「小さな世界」「森のくまさん」を演奏します。遊びの中で、いろいろな楽器に触れてみたり、好きな音楽を流しながら音を奏でたりして、楽器に親しんできた子ども達。自分のしたい楽器を選んだ時、トライアングルがとても人気でしたが、「私、やっぱり代わる！」「ぼくもいいよ」と楽器を代わってくれた子がいました。一人一人が自分で決めた楽器に意欲的に取り組んでいます。

劇は「おおきなかぶ」さくら組バージョンをします。劇遊びでは、まず子ども達が今まで楽しんできた絵本『おおかみと7ひきのこやぎ』『3びきのやぎのがらがらどん』『どうぞのいす』などのお話を、絵本に沿って、登場人物の中で自分がしたい役になって遊ぶところから始めました。



そして、本番の劇をどのお話でするのか話し合うと、『どうぞのいす』が一番人気でした。配役も決めて、本格的に進めていこうと思っていた時・・・1月の誕生会での先生からの出し物を『おおきなかぶ』の職員劇をすることに。先生が見せることで、「劇ってこんな風にするんだ」「面白そうだな」と子どもたちに感じてもらうのがねらいでした。すると、その劇を見た子どもたち（特にさくら組）は大喜び！！誕生会が終わった後も、「うんとこしょ、どっこいしょ」の掛け声を友だちと言い合い、『おおきなかぶ』の物語の面白さを劇を見て改めて感じたようでした。「ぼくたちも『おおきなかぶ』の劇遊びしてみたい」という声が挙がり、翌日やってみることにになりました。翌日の『おおきなかぶ』の劇遊びは予想通り、大盛り上がり！！その流れで、発表会でも『おおきなかぶ』の劇をすることになりました。



ですが、配役を決める時、「私は『どうぞのいす』が良かったな」とボソッと呟く子がいました。理由を聞くと、「ウサギ役になりたかった。でも、お話は『おおきなかぶ』の方が面白いと思う」とのことでした。発表会の劇は、さくら組の劇なので、子どもたちの思いをたくさん取り込んだ劇にしたいと思っています。なので、物語の通りじゃなくても大丈夫！「じゃあ、『おおきなかぶ』にウサギが来たたらいいんじゃない？みんなの劇だから、変えてもいいよ！みんなで決めたらいいんだよ」と言うと、パッと表情が明るくなり、さくら組バージョンの『おおきなかぶ』の劇をしようと全員の思いが一つになりました。

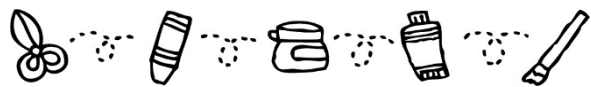
それから、役になりきって登場の仕方を考えたり、台詞に合わせて「こんなポーズにしてみよう」、「こんな台詞言ってみたいな」と子ども達と一緒に台詞を考えたり、話し合ったりしながら、進めています。物語の結末も、子どもたちと一緒に考えました！どんな劇になるのか楽しみにしててくださいね♪

楽しく、堂々と表現する姿に成長を感じる日々です



自分の出番以外はお客さん役。友だちの姿もよく見えています！

ロボット博物館にしよう！



今、遊びの時間にロボット作りを楽しむ子がたくさんいます。空き箱やカップ、ラップの芯・・・様々な廃材の中から自分のイメージしているロボットに近づくためにどの素材にしようか考えて選ぶ子、「このカップで作ってみたいな」とまず素材に惹かれて色々試しながら作っていく子、以前作ったロボットはすぐ倒れたから足を頑丈にしたいと改善できるように考えて作る子など・・・ロボットを作る課程も一人ひとり違うんですよ。お知らせタイムでも、「今日はこんなロボット作ったよ」と話す子が増えてきて、そんな友だちの姿に刺激を受けて、他の子



これでいいかな？色々試しています。集中しています…！

もやってみようとする姿も見られています。

すると、どんどん増えてきたロボット達。そんな様子を見て、「ロボットがいっぱいになってきた！ロボット博物館みたい」「そうだ、ロボット博物館にしよう！じゃあもっと作らなきゃ！」と、ロボット博物館を作ることに。“博物館ってどんなイメージなのかな？お客さんも呼びたいのかな？”と思いながら見ていましたが、子どもたちにとって、「博物館=たくさんある」というイメージのようで、自分と友だちの作ったロボットがたくさん並ぶことが嬉しく、ロボット作りがさらに楽しくなっているようです。



「ロボットさんも座らせよう！」と一緒に座っています。ロボットも友だちです！その気持ちが素敵・・・♪

だからといって、ただ作っているだけではなく、ロボット一体ずつに思いや工夫がたくさん詰まっていて、それが本当に面白いんですよ！ここで、ロボットたちの一部を少し紹介します♪



「どうしても立たせたい！」と試行錯誤してできたロボット。3人がかりで、友だちと協力して作っていました。



右がお姫様ロボット、左が王子様ロボット。よく園庭にも持って行っています。「この子たち、結婚してるの！」



ビッグサイズのロボット。なんと、先生の手を借りず、1人で作ったんです。「こんなに大きいのはぼくだけで作ったんだよ！」と自信もついた作品。



カップの広がりかドレスみたい！と気づき、「プリンセスロボット」と名付けていました。自分で塗った色も素敵です♪



最近、お知らせタイムで発表することを楽しみにしているさくら組の子どもたち。“友だちに伝えたい”“聞いてもらうことが嬉しい”という思いが強くなってきています。少しずつ自分の言葉で、話せるようになってきました。ロボットのような製作をしていた子には、どこをどのように頑張ったのか工夫した部分を聞くようにしています。少し難しい質問に初めは詰まる子もいましたが、上記のように頑張った部分やロボットの説明を話せるようになってきています。